

第1回放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成23年4月19日
2. 開催場所 松與会館
3. 委員の出席

(委員総数 8名)

(出席委員数 6名)

伊藤 俊悦
岡部 えり子
小松 恵里子
斎藤 和夫
佐々木 隆一

(欠席委員数 2名)

鈴木 信好
土田 百合子

横手コミュニティFM放送

代表取締役社長	岩佐 佳政
代表取締役副社長	塩田 謙三
代表取締役副社長	奥山 和彦
代表取締役副社長	渡部 尚男
取締役	齋藤 善一
取締役 編成制作局長	打川 敦
取締役 営業技術部長	武茂 広行
横手商工会議所 副会頭	和泉 健一 (オブザーバー)

スタッフ

編成部長	檜尾 正
制作部長	柴田 優子
営業部長	藤沢 進
技術部長	田口 和也
営業部次長	赤川 彰
制作部プロデューサー兼 番組審議委員会事務局長	戸巻 透

総務局長	高橋 雅博	横手商工会議所コミュニティ FM 支援室
総務部長	高橋 潔	横手商工会議所コミュニティ FM 支援室
総務部	木匠 一公	横手商工会議所コミュニティ FM 支援室

4.関係諸法・規定の説明

- ・コミュニティ FM 放送について
- ・放送番組審議会規定
- ・放送番組の編集の基準
- ・放送番組の編集に関する基本計画
- ・週間放送番組の編集に関する事項（番組表他）
- ・リスナーから寄せられた乾燥・意見

5.議題

①番組審議会 委員長（1名）、副委員長（1名）の選任

委員長 齋藤 和夫
副委員長 岡部 えり子 に決定。

②「放送番組の編集の基準」「放送番組の編集に関する基本計画」
「週間放送番組の編集に関する事項について」について

【高橋潔 総務部長】

- ・3月23日付けで番組審議会の皆様には文書で発送している。
ご意見を書面で求めたところ、齋藤委員長より編集の基準に「安心・安全」を前面に出してはどうか、小松委員からは、表記が時代に合わないという意見をいただき、改定した。「放送番組の編集に関する基本計画」については書面でのご意見はなかった。この3項目は、コミュニティ FM の免許申請に必要なもので、すでに東北総合通信局に提出済みの資料となっている。

3月23日付でいただいた文書のなかで、一番気になったところは、表現が時代に合わないという部分だったが、例えば「婦人及び児童」という部分は今であれば女性であるし、児童は一般的に子供であるし、疫病とか白痴とかそういう言葉が出てきたのだが、こういう言葉がないほうがいいと思った。本日改正されていたので安心した。ご検討いただきありがとうございました。

■番組審議会ですから、横手コミュニティ FM のことに関してはノータッチということでよろしいか？

先ほどの審議会の規定に目的が書いてあるのですが、放送基準にしたがったものであるかを審議していただく。

次回からは番組サンプルを事前にお届けし、また日々聞いて頂いているなかから放送についての意見を伺う。経営体制に関しては守備範囲外ということになる。

■放送番組の基準のくぐりで視聴者と聴取者という変更意図は？

明確な意図変更はありません。

① コミュニティ FM に期待すること。

【小松委員】

- ・災害時の地域のコミュニティ FM の重要性を改めて感じた。
- ・パーソナリティも被災地を訪問するなど勉強してほしい。
- ・また、小型ラジオの普及も期待したい。

【岡部委員】

- ・大きなところではできない細かい地域情報を伝達してもらいたい。
- ・3時のお茶の時間に J-WAVE ではなく、地域の情報を流して欲しいという要望をいただいた。通学以外でラジオを聞く時間に流して欲しい。

【伊藤委員】

- ・停電のときにありがたかった。もっとラジオを広めるようにしてもらいたい。
- ・専門的に偏らず、ポピュラーなものを流すという配慮も必要だと思う。

【佐々木委員】

- ・横手のことだけをやってくれるのでありがたい。
- ・雪害・地震の際に放送されたさいがいFMは、コミュニティ FM のありがたさがわかる時間だった。
- ・文化・社会貢献・利益の3つが実現され、かつ良い番組ができるようお願いしたい。

【齋藤委員】

- ・災害によって行政も目覚めたのではないかと思う。これから FM も行政と共に進むべきだと思う。放送の中身では、災害時冷静に対処してもらいたい。
- ・安心の裏付けとなる放送を行ってほしい。

【会社側より（塩田副社長）】

- ・よこてにぎわいイベント FM も含めて、いいスタートを切れたと思う。
- ・番組表が少しわかりづらい。リスナーにもっと提示していかなければならない。細やかな番組表での情報の提供、また番組内での告知・情報発信していただければ聞きやすくなる。

【榎尾 編成部長】

- ・サポーターショップについて—— 番組表をお店に置いていただいて、訪れたお客様が自由に持っていけるシステムを作っている。
- ・メーリングリストの利用でより市内の方々に知ってもらうというこれから努力を重ねていきたい。

【渡部放送局長】

- ・番組の内容に関しても地域の情報も必要だし、パーソナリティの質が悪ければ交代しなければならない。実際そんな声もある。そういうところを真摯に捉えながら高いところを目指す努力をする。
- ・地域を盛り上げるための核としたいという気持ちがある。
- ・内容・伝え方が大事だと思うので、スタッフも努力するので応援をお願いする。

【佐々木委員】

- ・さっき苦情にもありましたが、訓練不足な人たちがいるかなど。素人っぽさ、不適切な言い回しやトチリや、噛むことはプロとして許されることではないので早く改善してほ

しい。

- ・ランチ情報で FM の威力を感じた。
- ・雑誌に比べて、安く、たくさんの方に知らせることができる。
- ・インタビューなどを増やすと色んな文化が広がると思う。

【打川 編成制作局長】

- ・サイマルラジオはインターネット環境があれば、世界中どこでも聴くことができる。
聞いてくれている方は、「横手出身」「横手が懐かしい方」横手から離れた方までカバーできる。
- ・会社で対応を検討していかなければならない点もいくつかある。
- ・小型ラジオの普及、また 3 時のたばこの時間の番組は検討価値がある。
- ・市内をナナヨちゃんペイントの車で走ったり、のぼりを持ち歩いたりして電波じゃなく目で見てわかるように動きまわる予定なので、そちらも期待してほしい。

② その他

・臨時災害放送の報告

開局前に 1 月 27 日から 2 月 28 日まで雪害対応のさいがい FM を実施。

豪雪・東日本大震災の対応ということで 3 月 12 日から 3 月 30 日まで実施。

業務委託放送料 50 万円と 20 万円で請け負った。

- ・本免許をいただきましたが地震と免許取得が重なったので、簡略的に郵送で届いています。お落ち着いたら改めて訪問予定。

・横手市と災害時における緊急放送に関する協定を締結。

災害が起きたら災害放送ができる、横手市が割り込んで直接放送もできるという内容。

・中継局と割り込み装置について 4 月の年度予算に組み込まれている。

(資料地図内) 数字の①が書いてある場所が、横手地域局のある場所。

横手市の予算で②以降⑧までアンテナが増設される。大森地域に 3 本・山内地域に 3 本・増田地域に 2 本。

- ・併せて、緊急受信ラジオを 5 5 0 0 世帯に配ることも決定している。

・平成 23 年度の行政情報の放送

- ・朝・昼・夕 各10分ずつ、1日30分横手市の行政情報を放送する。
686万7千円で契約が完了している。
- ・コミュニティ FM の災害発生時の対応マニュアル—— 震度5弱以上で召集がかかるようなマニュアルを作成した。

6. 次回の開催日程について

偶数月の第1水曜日、午後3時から午後5時まで

次回からはテーマを決めて、それに沿って進行していく。

今回は5月放送の「グッドモーニングよこて」を題材とする。

7. 閉会